

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 サカタインクス株式会社

コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮田 明夫 TEL 06-6447-5823

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 71,328 | 6.0 | 3,907 | 1.0 | 4,645 | 6.6 | 2,937 | 6.8 |
| 26年3月期第2四半期 | 67,297 | 10.4 | 3,869 | 49.6 | 4,355 | 41.0 | 2,750 | 74.4 |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,326百万円(△47.8%) 26年3月期第2四半期 6,369百万円(579.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 48.55 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 45.46 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|---------|---|--------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 自己資本 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 118,436 | | 57,148 | | 55,478 | 46.8 |
| 26年3月期 | 115,407 | | 54,684 | | 53,118 | 46.0 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 55,478百万円 26年3月期 53,118百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |
| 27年3月期 | — | 9.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 146,500 | 4.7 | 8,500 | 3.0 | 9,650 | 2.2 | 6,000 | 0.6 | 99.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 27年3月期2Q | 62,601,161株 | 26年3月期 | 62,601,161株 |
| 27年3月期2Q | 2,092,200株 | 26年3月期 | 2,091,974株 |
| 27年3月期2Q | 60,509,064株 | 26年3月期2Q | 60,510,176株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |
| 4. その他 | 13 |
| 主要な設備の計画 | 13 |
| ※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。 | |
| ・平成26年12月1日(月)・・・・・・機関投資家・証券アナリスト等向け決算説明会 | |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、当社及び国内子会社が3月であるため、当第2四半期については、海外子会社（インドを除く）が2014年1～6月、国内連結会社及びインド子会社は2014年4～9月を対象として、記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国やインドなど一部に弱さがみられたものの、回復基調が続く米国をはじめとして、全体としては緩やかな景気回復が続きました。日本経済は、経済対策や金融政策を背景に緩やかな回復基調が続くものの、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れが懸念されるなど先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品や地域密着型製品の開発、TPM活動の水平展開による低コスト化に取り組みました。また、印刷インキ全般の主要原材料価格が依然として高水準で推移していることから、継続課題として、グループ全体でのコスト削減に取り組むとともに、販売価格の改定にも努めました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、アジアを中心に印刷インキの拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことから、713億2千8百万円（前年同期比6.0%増加）となりました。

利益面では、原材料高の影響などで日本は営業減益となったものの、海外における増収効果や為替換算の影響などにより、営業利益は39億7百万円（前年同期比1.0%増加）、経常利益は46億4千5百万円（前年同期比6.6%増加）、四半期純利益は29億3千7百万円（前年同期比6.8%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

| | 売上高 | | | | | 営業利益又は営業損失(△) | | |
|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|---------------|-------|------|
| | 前期 | 当期 | 増減額 | 増減率 | (※)実質 | 前期 | 当期 | 増減額 |
| 印刷インキ・機材(日本) | 29,077 | 28,737 | △340 | △1.2% | △1.2% | 1,612 | 1,225 | △387 |
| 印刷インキ(アジア) | 11,889 | 13,762 | 1,873 | 15.8% | 11.2% | 992 | 1,220 | 227 |
| 印刷インキ(北米) | 16,667 | 18,013 | 1,345 | 8.1% | 1.4% | 671 | 762 | 90 |
| 印刷インキ(欧州) | 3,641 | 4,332 | 690 | 19.0% | 4.3% | 47 | △51 | △99 |
| 機能性材料 | 3,394 | 3,643 | 249 | 7.4% | 3.3% | 268 | 345 | 77 |
| 報告セグメント計 | 64,670 | 68,489 | 3,818 | 5.9% | 2.3% | 3,593 | 3,502 | △90 |
| その他 | 6,022 | 6,935 | 913 | 15.2% | 15.2% | 146 | 128 | △18 |
| 調整額 | △3,395 | △4,096 | △700 | — | — | 130 | 276 | 146 |
| 合計 | 67,297 | 71,328 | 4,031 | 6.0% | 2.6% | 3,869 | 3,907 | 37 |

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

全般的には、消費増税に伴う駆け込み需要の反動、個人消費の伸び悩みの影響を受けました。パッケージ関連では、天候不順の影響もあり、フレキソインキはやや低調であったものの、グラビアインキは飲料、食品関係の需要に支えられ、比較的堅調に推移しました。印刷情報関連では、新聞インキ、オフセットインキともにやや低調に推移しました。機材につきましては、印刷製版用材料が低調であり、前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は287億3千7百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。

利益面では、販売価格の改定及びコスト削減に取り組んだものの、原材料高の影響などコスト増加が響き、営業利益は12億2千5百万円（前年同期比24.0%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、需要拡大を背景として全般的に堅調に推移しました。また、印刷情報関連である新聞インキ及びオフセットインキの拡販も進みました。売上高は、販売数量面での増加に加え、円安による為替換算の影響を受けた結果、137億6千2百万円（前年同期比15.8%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことなどから、営業利益は12億2千万円（前年同期比23.0%増加）となりました。

③印刷インキ（北米）

主力のパッケージ関連では、高機能インキの拡販を進め、北米や中南米などでの需要拡大を背景に、グラビアインキ、フレキソインキ及びメタルインキが堅調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、メディアの多様化により需要が減少する傾向にある中、拡販に取り組み、現地通貨ベースで前年同期を上回りました。売上高は、販売数量面での増加に加え、円安による為替換算の影響を受けた結果、180億1千3百万円（前年同期比8.1%増加）となりました。

利益面では、コスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことなどから、営業利益は7億6千2百万円（前年同期比13.5%増加）となりました。

④印刷インキ（欧州）

主力であるパッケージ関連のメタルインキ及びグラビアインキの拡販が進んだうえ、オフセットインキの拡販も進むなど、全般的に堅調に推移しました。売上高は、販売数量面での増加に加え、円安による為替換算の影響を受けた結果、43億3千2百万円（前年同期比19.0%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、英国新工場の立ち上げに伴う初期費用の増加などが響き、5千1百万円の営業損失（前年同期は4千7百万円の営業利益）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、インクジェットインキは欧米での販売が上向いてきており、日本での販売も順調に推移した結果、前年同期を上回りました。トナーにつきましては前年同期を下回りました。画像表示材料であるカラーフィルター用顔料分散液は前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は36億4千3百万円（前年同期比7.4%増加）となりました。

利益面では、販売増加に伴い、新規設備の稼働率向上も寄与したことなどから、営業利益は3億4千5百万円（前年同期比28.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、円高による為替換算の影響を受けたものの、時価評価による投資有価証券の増加、売掛金やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比30億2千9百万円(2.6%)増加の1,184億3千6百万円となりました。

負債は、流動負債のその他に計上されている設備未払金が減少し、円高による為替換算の影響を受けたものの、借入金の増加などにより、前連結会計年度末比5億6千5百万円(0.9%)増加の612億8千8百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末比24億6千4百万円(4.5%)増加の571億4千8百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加、法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費などにより、20億6千8百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間に比べ5億5千8百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、51億3千5百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ34億4千3百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加などにより、30億1千6百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間に比べ56億2千3百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は53億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千7百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、平成26年5月13日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。原材料高の影響などで日本は営業減益となる厳しい見通しであるものの、海外における増収効果や為替換算の影響などにより、全体では増益となる見込みであります。なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受けやすいUSドルにつきましては、第3四半期以降1ドル当たり平均で106.00円(通期平均で104.00円)としております。

平成27年3月期通期連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想(A) (平成26年5月13日) | 百万円 149,000 | 百万円 8,000 | 百万円 9,300 | 百万円 5,900 | 円 銭 97.50 |
| 今回修正予想(B) | 146,500 | 8,500 | 9,650 | 6,000 | 99.16 |
| 増減額(B-A) | △2,500 | 500 | 350 | 100 | — |
| 増減率(%) | △1.7 | 6.3 | 3.8 | 1.7 | — |
| 前期実績(平成26年3月期) | 139,911 | 8,255 | 9,443 | 5,964 | 98.57 |

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主として定率法、在外連結子会社は主として定額法によっておりましたが、当社の新規投資を契機として、有形固定資産の使用実態を見直した結果、定額法が当社グループの企業活動をより適切に反映した減価償却方法であると判断したため、第1四半期連結会計期間より、当社及び全ての連結子会社において定額法を採用することといたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ270百万円増加しております。

- ・会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が183百万円増加し、利益剰余金が122百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,514 | 5,377 |
| 受取手形及び売掛金 | 41,330 | 41,975 |
| 商品及び製品 | 7,507 | 8,242 |
| 仕掛品 | 885 | 936 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,735 | 5,758 |
| その他 | 2,357 | 2,127 |
| 貸倒引当金 | △453 | △391 |
| 流動資産合計 | 62,876 | 64,025 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 30,910 | 31,151 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 81 | 66 |
| その他 | 1,280 | 1,332 |
| 無形固定資産合計 | 1,362 | 1,398 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 19,006 | 20,663 |
| その他 | 1,682 | 1,619 |
| 貸倒引当金 | △431 | △421 |
| 投資その他の資産合計 | 20,257 | 21,860 |
| 固定資産合計 | 52,530 | 54,411 |
| 資産合計 | 115,407 | 118,436 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 23,046 | 23,038 |
| 短期借入金 | 4,518 | 5,589 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,191 | 2,702 |
| 未払費用 | 3,882 | 3,102 |
| 未払法人税等 | 898 | 759 |
| 賞与引当金 | 1,105 | 1,125 |
| その他 | 7,473 | 4,117 |
| 流動負債合計 | 43,116 | 40,433 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,738 | 12,798 |
| 退職給付に係る負債 | 4,196 | 4,319 |
| 資産除去債務 | 70 | 71 |
| その他 | 2,600 | 3,665 |
| 固定負債合計 | 17,606 | 20,854 |
| 負債合計 | 60,723 | 61,288 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,472 | 7,472 |
| 資本剰余金 | 5,672 | 5,672 |
| 利益剰余金 | 43,221 | 45,397 |
| 自己株式 | △642 | △642 |
| 株主資本合計 | 55,724 | 57,900 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,923 | 3,021 |
| 繰延ヘッジ損益 | 12 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △3,438 | △4,446 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,102 | △998 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,606 | △2,421 |
| 少数株主持分 | 1,565 | 1,669 |
| 純資産合計 | 54,684 | 57,148 |
| 負債純資産合計 | 115,407 | 118,436 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 67,297 | 71,328 |
| 売上原価 | 51,569 | 54,819 |
| 売上総利益 | 15,727 | 16,509 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,857 | 12,601 |
| 営業利益 | 3,869 | 3,907 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 38 | 26 |
| 受取配当金 | 135 | 155 |
| 持分法による投資利益 | 422 | 483 |
| その他 | 203 | 312 |
| 営業外収益合計 | 800 | 978 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 174 | 179 |
| 為替差損 | 76 | — |
| その他 | 63 | 61 |
| 営業外費用合計 | 314 | 241 |
| 経常利益 | 4,355 | 4,645 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 6 | — |
| 特別利益合計 | 6 | — |
| 特別損失 | | |
| 有形固定資産除却損 | — | 25 |
| 投資有価証券評価損 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 0 | 25 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,362 | 4,619 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,362 | 1,434 |
| 法人税等調整額 | 74 | △29 |
| 法人税等合計 | 1,437 | 1,405 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,924 | 3,214 |
| 少数株主利益 | 174 | 276 |
| 四半期純利益 | 2,750 | 2,937 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,924 | 3,214 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 912 | 1,048 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | △13 |
| 為替換算調整勘定 | 1,624 | △723 |
| 退職給付に係る調整額 | — | 104 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 905 | △302 |
| その他の包括利益合計 | 3,444 | 111 |
| 四半期包括利益 | 6,369 | 3,326 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,069 | 3,122 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 299 | 204 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,362 | 4,619 |
| 減価償却費 | 1,246 | 1,420 |
| のれん償却額 | 13 | 13 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 66 | △56 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 38 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | — | 109 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 20 | 21 |
| 有形固定資産除却損 | — | 25 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △6 | — |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 0 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △174 | △182 |
| 支払利息 | 174 | 179 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △422 | △483 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 535 | △1,196 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △124 | △1,097 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,364 | 230 |
| その他 | △310 | △8 |
| 小計 | 4,054 | 3,595 |
| 利息及び配当金の受取額 | 279 | 308 |
| 利息の支払額 | △176 | △190 |
| 法人税等の支払額 | △1,530 | △1,644 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,627 | 2,068 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,557 | △5,024 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 7 | 20 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △9 | △9 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 10 | — |
| 貸付けによる支出 | △13 | △15 |
| 貸付金の回収による収入 | 15 | 25 |
| その他 | △144 | △131 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,691 | △5,135 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △1,023 | 1,227 |
| 長期借入れによる収入 | 549 | 4,106 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,519 | △1,446 |
| 配当金の支払額 | △423 | △605 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △35 | △100 |
| その他 | △156 | △166 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,607 | 3,016 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 102 | △86 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,570 | △137 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,861 | 5,514 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,290 | 5,377 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 印刷 インキ ・機材 (日本) | 印刷 インキ (アジア) | 印刷 インキ (北米) | 印刷 インキ (欧州) | 機能性 材料 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,061 | 11,848 | 15,693 | 3,607 | 3,337 | 63,547 | 3,749 | 67,297 | — | 67,297 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16 | 40 | 974 | 34 | 56 | 1,123 | 2,272 | 3,395 | △3,395 | — |
| 計 | 29,077 | 11,889 | 16,667 | 3,641 | 3,394 | 64,670 | 6,022 | 70,693 | △3,395 | 67,297 |
| セグメント利益 | 1,612 | 992 | 671 | 47 | 268 | 3,593 | 146 | 3,739 | 130 | 3,869 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額130百万円には、セグメント間取引消去221百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 印刷 インキ ・機材 (日本) | 印刷 インキ (アジア) | 印刷 インキ (北米) | 印刷 インキ (欧州) | 機能性 材料 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,721 | 13,727 | 16,917 | 4,175 | 3,600 | 67,141 | 4,187 | 71,328 | — | 71,328 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16 | 35 | 1,095 | 156 | 43 | 1,348 | 2,747 | 4,096 | △4,096 | — |
| 計 | 28,737 | 13,762 | 18,013 | 4,332 | 3,643 | 68,489 | 6,935 | 75,424 | △4,096 | 71,328 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 1,225 | 1,220 | 762 | △51 | 345 | 3,502 | 128 | 3,630 | 276 | 3,907 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額276百万円には、セグメント間取引消去378百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△101百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、有形固定資産の減価償却方法について、当社及び国内連結子会社は主として定率法、在外連結子会社は主として定額法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び全ての連結子会社において定額法を採用することといたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「印刷インキ・機材(日本)」で89百万円、「印刷インキ(アジア)」で25百万円、「機能性材料」で144百万円、「その他」で10百万円、それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社であるSAKATA INX VIETNAM CO., LTD. (12月決算)の本社工場(ベトナム社会主義共和国ビンズオン省)におきまして、平成26年9月18日に火災事故が発生いたしました。この火災事故による損失額については現在調査中ではありますが、焼失した棚卸資産及び建物、機械装置等の平成26年8月31日時点の帳簿価額総額は約768百万円であります。

なお、当該焼失資産及び操業停止による機会損失は保険により補填される見込みですが、補填額につきましては現時点では未確定であります。

4. その他

主要な設備の計画

平成26年9月30日現在

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | セグメントの名称 | 設備の内容 | 投資予定額 | | 資金調達 方法 | 着手及び完了予定 | |
|------------------------------|-----------------------|------------------|-------|-----------------|----------------|-------------------|--------------|--------------|
| | | | | 総額 | 既支払額 | | 着手 | 完了 |
| 提出会社 | 滋賀工場(第2期) (滋賀県米原市) | 印刷インキ・機材 (日本) | 製造設備 | 百万円 2,647 | 百万円 - | 自己資金 | 平成26年 10月 | 平成27年 12月 |
| INX International Ink Co. | 米国 (オハイオ州) | 印刷インキ(北米) | 製造設備 | 千US\$ 21,000 | 千US\$ 8,200 | 自己資金 及び 借入金 | 平成26年 3月 | 平成27年 1月 |

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 上記のINX International Ink Co.における投資予定額に工場用地の取得金額は含めておりません。